



NEWS LETTER

主役のバトンタッチはもうすぐ

左の図1は、高校生が進路選択をする際に考慮すべき要因を整理したものです。①学力実績要因は本人の評定や模試の偏差値、取得した資格や出欠など、数値として示されるものです。②その他の人格的要因は欲求、興味、性格など個人の人格的特徴です。③家庭環境要因は家庭の経済状況や保護者の意向です。④社会環境要因は景気や企業の雇用動向、進学倍率など、予測しづらい外的要因です。1・2年生は①④の現状について、わかっている分の情報を整理してみてください。

③④は、自分の意思ではどうにもならない部分がありますが、①②は自分の努力次第で変えることができます。いい方向に変えることができます。例えば、いろいろな学校や企業が進路の選択肢に入ってくるはずですが、例えば、学業成績が良ければ、進学してからの授業料免除を受けられる可能性も出てきます。2年生で2学期怠けてしまった人はもう後がありません。推薦入試で大学を目指すのなら平均評定は5.0に近づける必要があります。就職についても、評定が4.8以上ないと内定を出さないという企業があります。1年生も計画的に、評定対策、基礎学力の定着に励んでください。

2学期末までに、3年生59名のうち46名の生徒の進路が決定しました。その進路別の内訳が図2です。就職に関しては、過去最高に求人倍率が高かったこともあり、ほぼ全員が受験1社目で内定をもらっています。短大・専門志望の生徒も、全員がAO・推薦入試で第1志望の学校に合格しました。

今、3年生の中で必死に進路活動を継続しているのは、国公立大学志望者と公務員志望者です。志望を貫き、努力を重ねている姿は後輩のよき手本です。大学志望者はセンター試験対策の講習を受講中です。最後まで仲間や先生方と共に、頑張り抜きましょう。

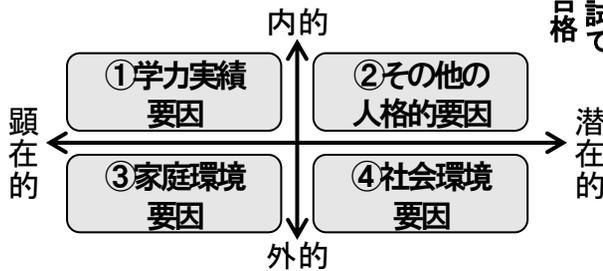


図1 進路選択に関して考慮すべき要因

	進学			就職		
	大学	短大	専門学校	県内	県外	公務員
男	0	1	5	5	2	1
女	4	3	9	11	5	0
計	4	4	14	16	7	1

図2 今年度3年生の進路決定状況 (12月21日現在)

全校生徒 キャリア特別授業

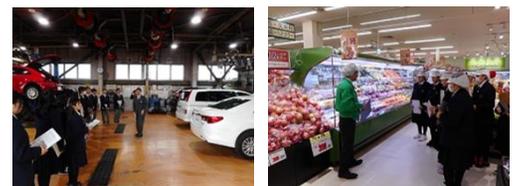


11月8日(木)5・6限
大間高校 × NPO法人「ぶらっと下北」× 11名の地元ゲスト

地域の未来と自分の生き方について考えを深めることを目的として、キャリア特別授業を実施しました。ゲストは下北地方で活躍する、多彩な実業家の方々です。

生徒の「地元を出たい」という希望を学校が否定することはできません。それでも、一定数の生徒には将来この地域を支える人材を目指してほしいと考え企画を進めました。これからの下北の経済・文化をリードする新しい人材を育てることこそ、大間高校の役割です。地方は中央に人材を供給するために存在しているわけではありません。「自分が地元になりたいから」地元就職をするのではなく、「地元に何とかしたいから」地元就職をするという郷土愛溢れる生徒が現れることに期待します。

2年生 企業見学会(八戸)



11月14日(水) 2年I型17名参加

【午前】ユニバース様 ▼3県にまたがる店舗展開や企業戦略全般、新入社員が青果・惣菜などの部門運営責任者を目指すべきことを教えていただきました。

【午後】塚原企業グループ様 ▼トヨタカローラ八戸を経営。▼同社のエンジニアは技術検定1級の合格率が東北のトヨタ系列ディーラー32社の中で1位とのこと。▼同社の人材育成システムや自動車整備資格全般について理解を深めることができました。